

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Web Client 2020 R3

ユーザーマニュアル



目次

著作権、商標、および免責条項	4
概要	5
XProtect Web Client	5
要件と注意事項	6
受信音声の再生条件	6
プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件	6
ダイレクトストリーミングの要件	7
設定	8
ログイン	8
設定	8
ダイレクトストリーミング(説明付き)	10
アダプティブストリーミング(説明付き)	10
カメラの録画の管理(説明付き)	11
録画映像の保存期間と保管(説明付き)	12
受信音声の再生(説明付き)	12
プッシュ・トゥ・トーク(説明付き)	13
デジタルズームと光学ズーム(説明付き)	14
WebSockets	15
操作	16
ホームページの概要	16
カメラの検索	17
カメラに移動する	17
ライブビデオを見る(説明付き)	18
ライブモードで受信音声を再生	21
1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用	22
ライブビデオ内の複数のカメラに音声を配信する	23
1台のカメラから録画を再生する	23

ビデオ録画における音声の再生(説明付き)	26
複数のカメラからの録画映像(説明付き)	28
再生するビデオの時間を指定する	30
再生をオンまたはオフにする	32
再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。	33
調査エリア内のカメラ(説明付き)	33
調査タイムラインの使用(説明付き)	34
1つかそれ以上のカメラで調査を作成する	35
カメラを既存の調査に追加	37
既存の調査からカメラを削除する	39
調査を更新または削除する	40
映像のエクスポートとダウンロードを準備する	41
XProtect Web Client ページの共有(説明付き)	43
アラームを表示	43
アクションの有効化	45
PTZ コントロール	46
デジタルズームの使用	46
光学ズームの使用(カメラが光学ズームをサポートしている場合)	47
アップグレード	48
XProtect Web Client のアップデート	48

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2020 Milestone Systems A/S

商標

XProtectはMilestone Systems A/Sの登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/Sは、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いのMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtを参照してください。

概要

XProtect Web Client

XProtect Web Clientでは以下を実行できます。

- Webブラウザでライブビデオとビデオ録画を表示します
- ライブビデオとビデオ録画において受信音声と送信音声を再生します
 - 1つのカメラからライブビデオを見ている時にプッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能を使用する
 - ライブモードで複数のカメラに音声を配信する
 - 再生モード時に受信音声と送信音声を再生する
- 調査を作る
- 受信音声と送信音声付き/なしのビデオエクスポートダウンロードする
- ビデオ監視システムでイベントをトリガーするアクションを起こします。
- 様々なイベントで引き起こされたアラームのビデオを見る

要件と注意事項

受信音声の再生条件

あなたのカメラからインカム音声 を聞くには、以下が必要です:

- マイクがカメラに付随していること



お使いの監視システムにおけるカメラがマイクを付随している場合、追加の設定は必要なく、音声を再生することができます。カメラツールバーにおける音声アイコンは、音声機能が有効かどうかを表示します。

- ユーザー権限が不十分です



入ってくる音声機能へのアクセスは、ユーザー権限によって制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

プッシュ・トゥ・トーク使用のための要件

モバイル デバイスを通じ、VMS システムのカメラのインカム音声 を聞くには、以下を保持していなければなりません:

- スピーカー付きカメラ
- ご利用のコンピュータ付属のマイク



インターネットブラウザがあなたのPCマイクにアクセスするのを許可しなくてはなりません。

- ユーザー権限が不十分です



ユーザー 権限によってはプッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能へのアクセスが制限されることがあります。ご不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

- 安全なインターネット接続 (HTTPS)



プッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能はInternet Explorer 11ではサポートされていません。

ダイレクトストリーミングの要件

XProtectWeb Clientはライブモードでの直接ストリーミングに対応しています(XProtectExpertおよびXProtectCorporateのみ)。

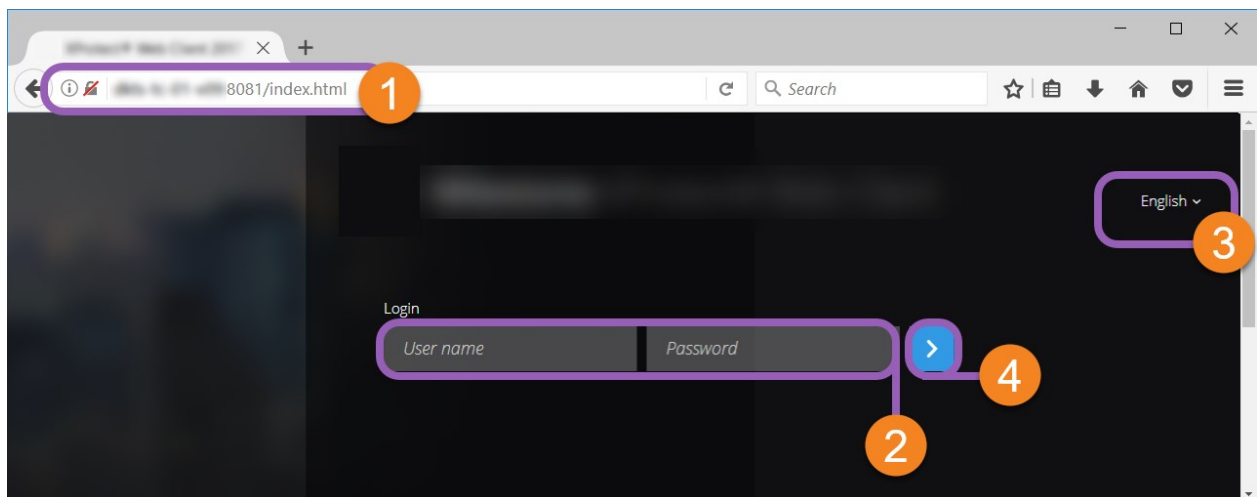
ダイレクトストリーミングを使用すれば、最大で100本以上のライブビデオをフルHD 30 FPSで同時にモニタリングできます。これには以下が必要です。

- H.264 コーデックに対応しているカメラを使用する
- XProtect Web Clientでダイレクトストリーミング機能を有効にする(「ページ8の設定」を参照)

詳細については、[XProtect VMS管理者 マニュアル](#)を参照してください。

設定

ログイン

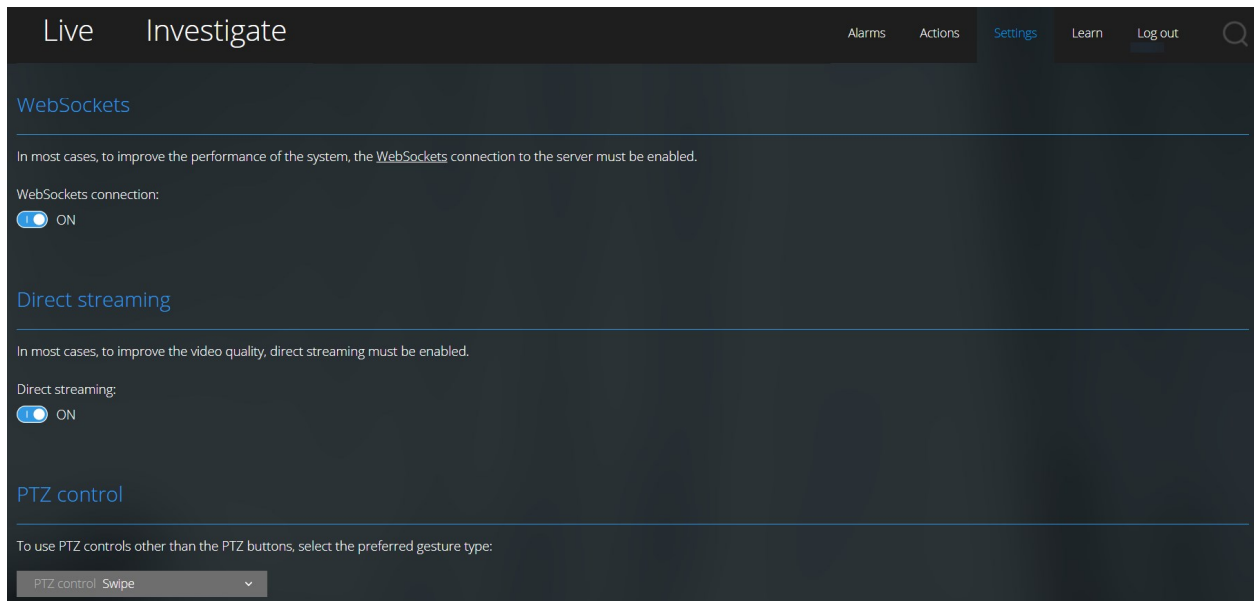


1. お使いのWebブラウザ①におけるアドレスバーに、システム管理者より与えられたインターネットアドレスを入力してください。例: `http://11.2.3.4:8081` または `https://11.2.3.4:8082`。
2. ユーザー名およびパスワードフィールド②に、ログイン情報を入力します。
オプション: 言語を変更するには、右上のデフォルトの言語③をクリックします。
3. >④をクリックするか、**Enter**を押し、ログインします。

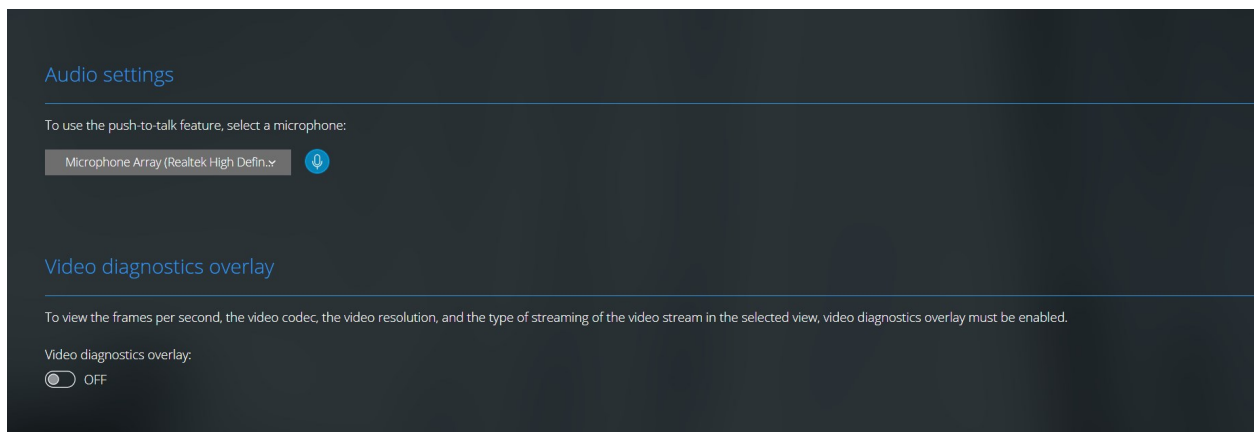
設定

	「XProtect Web Clientをできるだけスムーズに実行させるにはどうしたらよいですか？ また、PTZカメラを動かす他の方法が知りたいです。」
---	--

設定]タブで:



- **WebSockets**では、サーバーへの**WebSockets**接続を有効にすることで、システムのパフォーマンスを向上できます(「ページ15の**WebSockets**」を参照)
- [ダイレクトストリーミング]では、ダイレクトストリーミング機能を有効にできます(「XProtectExpertおよびXProtect Corporateのみ」)。この機能はデフォルトで有効になっています(「ページ10のダイレクトストリーミング(説明付き)」を参照)
- [PTZコントロール]では、PTZボタンが使用されていない場合に、PTZコントロールの希望の動作を選択できます(ページ46のPTZコントロールを参照)。



- [音声設定]では、XProtect Web Clientのプッシュトゥーク(PTT)機能で使用するマイクを選択できます。プッシュトゥークアイコンの点滅は、関連音声デバイスの使用準備が整ったことを表します。
- [ビデオ診断オーバーレイ]では、選択したビューのビデオストリームのFPS(1秒あたりのフレーム数)、コーデック、解像度、ストリーミングのタイプを表示する機能を有効にできます。この機能では、情報がビデオのオーバーレイとして表示されるため、ビデオストリームに関連したXProtect Web Clientの問題や、ローカルパフォーマンス問題のトラブルシューティングの役に立つことがあります。

ダイレクトストリーミング(説明付き)

XProtect Mobileはライブモードでの直接ストリーミングに対応しています(XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ)。

ダイレクトストリーミングは、H.264コーデック形式のビデオをXProtectシステムからクライアントに直接転送するためのビデオストリーミング技術です。これは、多くの新型IPカメラでサポートされています。ダイレクトストリーミングにはトランスコーディングは不要なため、XProtectにかかる負荷の一部が軽減されます。

ダイレクトストリーミング技術は、(XProtectシステムにより、ビデオがカメラで使用するコーデックからJPEGファイルへとデコードされる)XProtectのトランスコーディング設定とは対照的です。この機能を有効にすると、カメラとビデオストリーミングの設定を変更することなくCPU使用率が軽減します。ダイレクトストリーミングはまた、同一のハードウェアのパフォーマンスも向上させます(トランスコーディングと比較して最大で5倍の量のビデオストリーミングが可能)。

XProtect Web Clientでは、ダイレクトストリーミングは単一カメラビューとグリッドビューの両方で使用できます。

ビデオストリームは以下が発生するとダイレクトストリーミングからトランスコーディングにフォールバックします。

- ダイレクトストリーミング機能がManagement Clientで無効にされたか、要件が満たされていません(「ページ7のダイレクトストリーミングの要件を参照」)
- ストリーミングカメラのコーデックがH.264ではありません
- ビデオを10秒間以上にわたって再生できない
- ストリーミングカメラのフレームレートが1秒あたり1フレーム(1FPS)に設定されています
- サーバーとの接続、またはカメラとの接続が失われました
- ライブビデオ中にプライバシーマスク機能を使用している
- サーバーへのWebSockets接続が無効になっている

アダプティブストリーミング(説明付き)

XProtect Mobileは、ライブモードでのアダプティブストリーミングに対応しています(XProtect ExpertおよびXProtect Corporateのみ)。

アダプティブストリーミングは、カメラの同一ビューで複数のライブビデオストリームを視聴する場合に便利です。この機能はXProtect Mobileサーバーのパフォーマンスを最適化し、XProtect MobileクライアントとXProtect Web Clientを実行しているデバイスの復号化能力とパフォーマンスを改善します。

アダプティブ ストリーミングを活用するには、カメラに解像度の異なる複数のストリームを設定する必要があります。この場合、この機能によって以下が可能となります。

- ビデオ画質の最適化 - 利用可能なもっとも低い解像度(要求したものと同等またはそれ以上の解像度)を持つストリームが選択されます
- サーバーパフォーマンスの最適化 - 要求された解像度を低下させた後、使用可能なもっとも低い解像度(低下したものと同等またはそれ以上の解像度)を持つストリームが選択されます
- 低帯域幅用に解像度を最適化 - 利用可能なもっとも低い解像度を持つストリームが選択されます(3Gまたは不安定なネットワークを使用している場合に推奨)



ズーム中に要求されるビデオストリームは、常に利用可能なもっとも高い解像度を持つものとなります。



帯域幅の使用はたいいてい、要求したストリームの解像度が下げられるのに併せて減少します。帯域幅の使用は、定義したストリーム構成の他の設定にも依存します。

詳細については、[XProtect VMS管理者 マニュアル](#)を参照してください。

カメラの録画の管理(説明付き)

カメラビデオおよび音声録画の管理には、次の選択肢があります。

- 【ライブ】タブでは、以下のことができます。
 - 特定のカメラから録画を再生する。
 - ビデオ録画の受信音声と送信音声を再生する(ページ26のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照)
 - 再生したい録画の時間を指定する。選択したカメラに、指定された時間が適用されます。

- **【調査】**タブでは以下を実行できます。
 - 1つまたは複数のカメラからの録画を再生または調査する。



調査モード内で、調査を作成せずに録画を再生したい場合、全カメラの録画映像を、現在のビューでいつでも同時再生できます。

- ビデオ録画または調査に録音された受信音声と送信音声を再生する。
- 再生または調査したい録画の時間を指定してください。指定された時間が、特定のビューに含まれる、または調査に追加されたすべてのカメラに適用されます。
- 録画の時間帯を指定し、詳細な開始日および終了日および時間を設定できます。
- 以下のように、保存された調査を管理することができます。状態を更新する、カメラを追加または削除することで設定を編集する、調査を削除する、または録画をエクスポートおよびダウンロードする。



録画をシステムデータベース内に適切な期間、確実に保存するために、保存期間をニーズに合わせて設定してください。(ページ12の録画映像の保存期間と保管(説明付き)を参照)。

録画映像の保存期間と保管(説明付き)

保存期間は、システムデータベース内に録画映像がいつまで保管されるか決定します。初期設定の保存期間は7日間です。保存期間またはデータベースの最大容量を変更したい場合は、システム管理者に問い合わせてください。保存期間を過ぎると、その録画映像は削除されます。

【ライブ】タブおよび**【調査】**タブでは、保存期間の設定で設定された日数を経過していない録画映像を再生できます。

録画映像が削除されないようにするには、**【調査】**タブで調査を作成する必要があります。一度調査を作成すれば、例えばその録画映像がシステムデータベースから削除されていたとしても、その映像を再生、エクスポートおよびダウンロードできます。

受信音声の再生(説明付き)

XProtect Web Client次の場合に入力オーディオをサポートします:

- ライブビデオを見る(ページ18のライブビデオを見る(説明付き)を参照。)
- ビデオ録画をプレイバック(ページ11のカメラの録画の管理(説明付き)を参照。)

受信音声は以下でも再生できます:

- 調査(ページ33の調査エリア内のカメラ(説明付き)を参照。)
- ビデオ エクスポート(ページ41の映像のエクスポートとダウンロードを準備するを参照)
- アラーム (ページ43のアラームを表示を参照)

- アクション(ページ45のアクションの有効化を参照)

プッシュ・トゥ・トーク(説明付き)

プッシュ・トゥ・トークとは、PCのマイクからVMSシステムを介して1つ以上のカメラの近くにいる人とコミュニケーションを取ったり、複数の音声装置付きビデオカメラへの音声配信を始めることができる機能です。また、記録した会話を再生モードで再生したり、ビデオエクスポートの準備中に双方向音声記録を音声パッケージに含めたりもできます。

XProtect Web Clientはプッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能に対応しています。

- 1つまたは複数のカメラからライブビデオを見ている時(ページ18のライブビデオを見る(説明付き)を参照)
- ビデオ録画に録音された送信音声を再生する際(ページ26のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照)
- 調中査およびビデオのエクスポート中
- アクション中(ページ45のアクションの有効化を参照)
- アラーム発生時(ページ43のアラームを表示を参照)



インターネットブラウザにあなたのPCマイクへのアクセスを許可しなくてはなりません。(ページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照)。

プッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能が使用可能の時、カメラツールバーにプッシュ・トゥ・トークボタンが現れます。そのアイコンは以下の状況を表しています:

アイコン	説明
 (使用可能)	ライブモードでは、プッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能が使用可能であり、使用条件もすべて満たしていること示しています。プッシュ・トゥ・トークをスタートするにはクリック&ホールド。音声の送信を終了するには、ボタンをリリース。
 (アクティブ)	ライブモードでは、現在プッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能が使用中であることを示しています。ビデオカメラのPCマイクとビデオカメラのスピーカーまたはビデオカメラがアクティブな状態である。ブルーのパルスサークルはサウンドレベルを示しています。
 (無効)	ライブモードでは、プッシュ・トゥ・トーク(PTT)機能は使用可能ながらも、使用条件を満たしていなかったことを示しています(ページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照)。

アイコン	説明
 (使用不可)	以下が原因でライブモード時にプッシュ・トゥ・トーク (PTT) が使用できないことが示されます: - ユーザー権限が同レベルまたは高いレベルのユーザーがすでに同じカメラスピーカー通じてプッシュ・トゥ・トークを使用中。 - ユーザー権限が高いレベルのユーザーがあなたのプッシュ・トゥ・トークセッションに割り込んだ - カメラスピーカーが使用不能 - ハードウェアデバイスが使用不能
	再生モード時に、ビデオ録画の再生中に双方向音声を再生できること、ならびに再生したい音声ソースを選択できることが示されます(ページ26のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照)。

ライブモード時のプッシュ・トゥ・トークの割り込みルール

ユーザー権限のレベルに従い、(管理者 またオペレータ)、ライブモード中のプッシュ・トゥ・トークセッションには中断の2つのルールがあります:

- ユーザー権限が同レベルのユーザーは互いに割り込みではない
- ユーザー権限が低いレベルのユーザー(オペレータ)はユーザー権限が高いレベルのユーザー(管理者)に割り込みではない。

デジタルズームと光学ズーム(説明付き)

デジタルズームを使用した場合:

- 画像品質は下がります。ご覧になった画像はピクセル化され、明瞭度が下がります。
- 録画品質に変化はありません。
- 録画のズームレベルに変化はありません。

光学ズームを使用した場合(カメラが光学ズームをサポートしている場合のみ):

- ご覧になる画像品質に変化はありません。
- 録画品質に変化はありません。
- もし録画の最中にカメラの光学ズームを使用する場合、ご使用のズームレベルが録画にも適応されます。

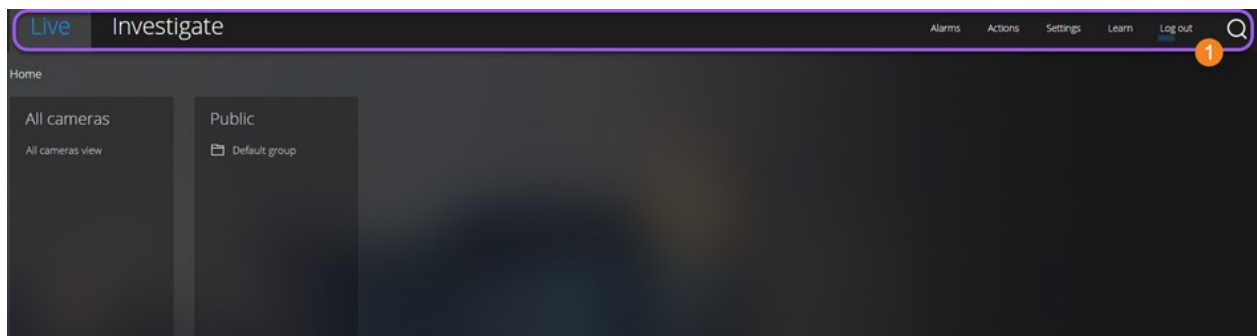
WebSockets

WebSocketsをオンの状態にすると、ビデオをより早く取得し、また帯域幅使用量が減ります。

システム管理者からオフにするよう指示があった場合以外は、この設定を維持してください。

操作

ホームページの概要



メニュー①内の項目	可能なアクション
XProtect Web Client ロゴ	クリックして、XProtect Web Clientのホームページに戻る。
ライブ	• クリックしてビューストラクチャー内の最後のポジションに戻る。 • ライブビデオを見る(ページ18のライブビデオを見る(説明付き)を参照。) • 1つのカメラからの録画をプレイバックするには、カメラをクリック(ページ23の1台のカメラから録画を再生するを参照。)
調査	複数のカメラの録画を再生(ページ28の複数のカメラからの録画映像(説明付き)とページ41の映像のエクスポートとダウンロードを準備するを参照)
アラーム	全てのカメラのアラームを見る(ページ43のアラームを表示を参照)
アクション	アクションを起こす(例えば、ドアを開ける)(ページ45のアクションの有効化を参照)
設定	カスタマイズ XProtect Web Client (ページ8の設定を参照)

メニュー①内の項目	可能なアクション
チュートリアル	チュートリアルビデオをご覧になり、XProtect Web Clientに関する説明をお読みください。
ログアウト	XProtect Web Clientを終了します。
検索	フォルダー、ビュー、カメラを探す (ページ17のカメラの検索を参照)

カメラの検索

ホームページにおいて:

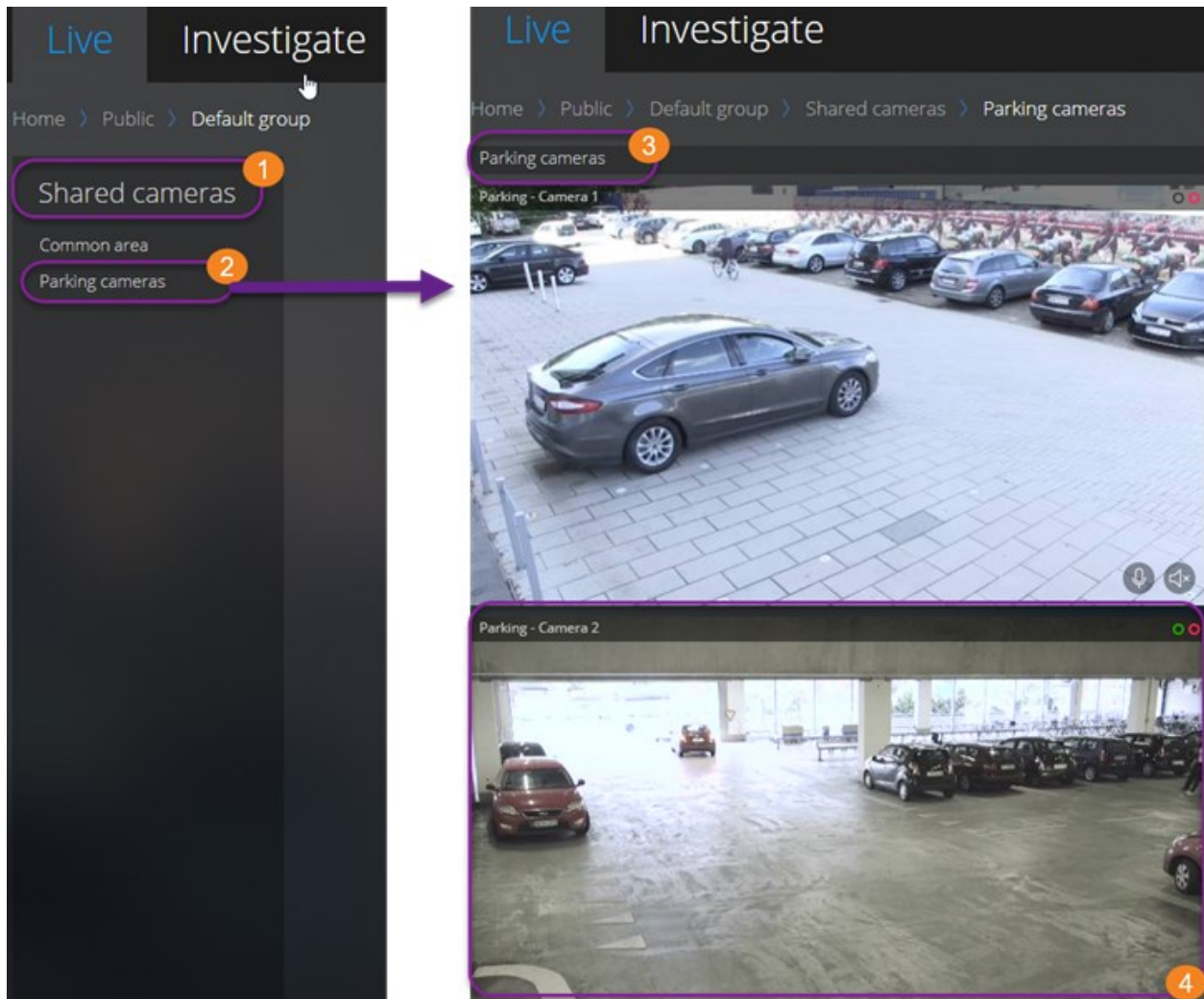
1. 右上のをクリックします。
2. フォルダー、ビュー、またはカメラの名前を入力します。テキストを入力すると同時に結果が表示されます。
3. ライブビデオ上のオプションのためにはカメラをクリック(ページ18のライブビデオを見る(説明付き)を参照。)



お使いのすべてのPTZカメラを検索するには、「ptz」と入力します。全てのマイク付きのカメラを探すには「audio」と入力します。スピーカー付きのカメラを探すには「ptt」と入力します。

カメラに移動する

ホームページにおいて:



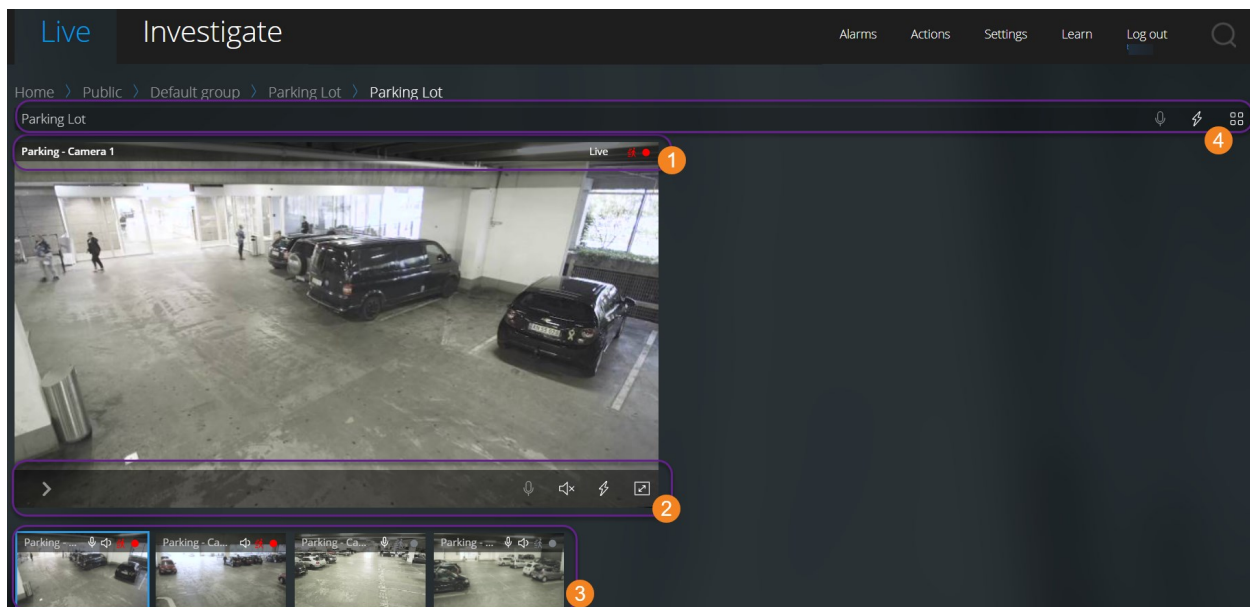
1. フォルダー^①内で、サブフォルダー^②をクリックし、あなたのビュー^③を表示します。
2. ビュー^③で、そのビューにおけるすべてのカメラからのライブビデオを見ます。どのカメラがマイクとスピーカー付きかを見る。
3. カメラ^④をクリックしてそのカメラからの録画を再生する(ページ23の1台のカメラから録画を再生するを参照)

ライブビデオを見る(説明付き)



「ライブビデオで可能なアクションは？ また、ビデオの画面右上にある赤と緑の円は何を意味するのか？」

ライブタブから、カメラを見つけ、クリックします。



カメラのタイトルバー^①で:

- カメラの名前を確認します。
- 閲覧中のビデオがライブなのか、再生モードなのかを確認します。
- カメラが動きを検知しているか、ビデオを録画しているか、その両方なのかを確認します。

シンボル	動きが検知されているか?	ビデオが録画されているか?
	⊗	⊗
	☑	⊗
	⊗	☑
	☑	☑

カメラツールバー^②で:

アイテム	可能なアクション
	ライブビデオを一旦停止して、録画されたビデオをプレイバック (ページ 23 の1台のカメラから録画を再生するを参照。)
	PTZ カメラを動かしズームする (PTZ カメラに限る)。
	PTZ カメラをXProtect Smart Clientで指定したPTZプリセットポジションに動かす (プリセットされたPTZ カメラのみ)
	カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
	フル画面にします。 Esc を再度クリックまたは押して、フル画面を終了します。
	受信音声の再生を開始または停止します(ページ6の受信音声の再生条件を参照)。
	1つのカメラへのプッシュ・トゥ・トークをスタートするには、クリックしたままホールドします。オーディオの送信を終了するには、アイコンをリリース (ページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件を参照。).

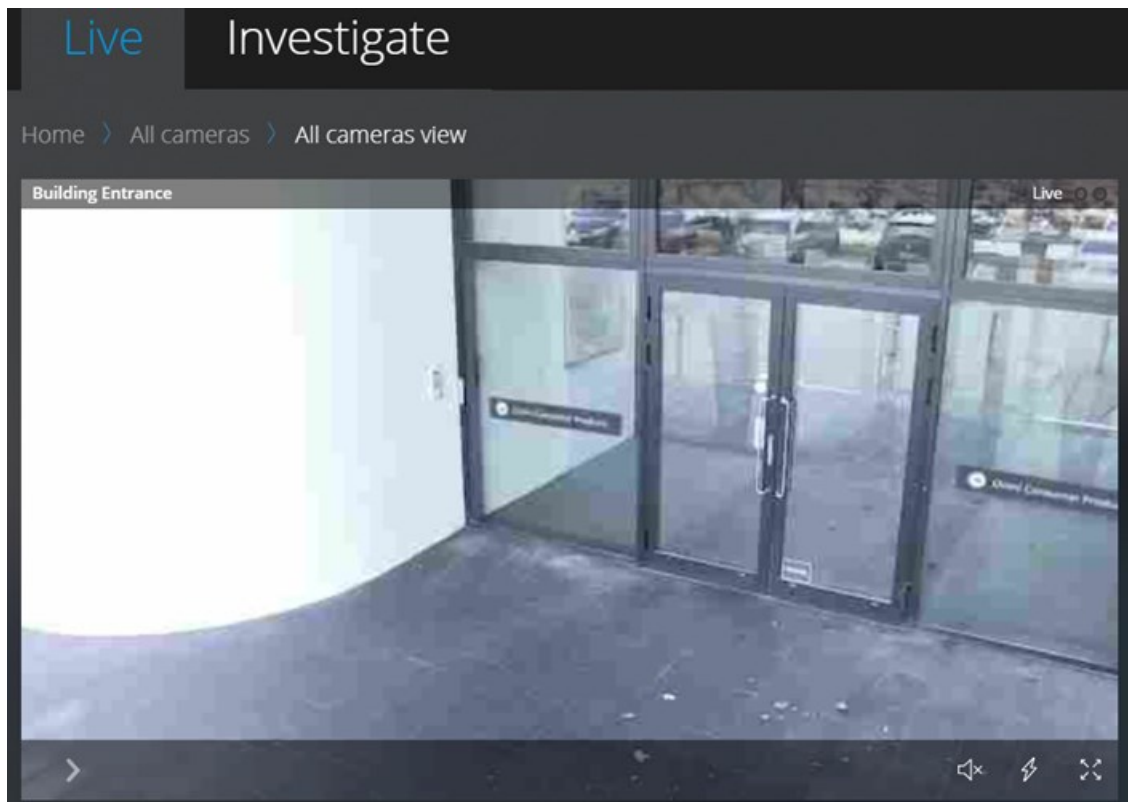
サムネイルストリップ  にて:

- ビューですべてのカメラからのライブビデオを確認してください
- どのカメラにマイクが付随しているのかを確認します
- どのカメラがスピーカー付きかを見る。
- 他のカメラにスイッチするには、そのカメラをクリックします。
- サムネイルストリップをリサイズするには、マウスをサムネイルストリップの上まで持っていき、ストリップをクリックし、ドラッグして上げ下げします。

ビューのツールバー  上:

- ビュー内にある音声装置付きカメラすべてに音声配信を始めるには、 をクリックしたままホールドします。
-  をクリックして、ビュー内の全カメラの全アクションを表示します。アクションを選択して有効にします。
- ビューで、すべてのカメラからのより大きなライブビデオを見るには  をクリックします。

ライブモードで受信音声を再生



[ライブ]タブで:

1. マイクが付随したカメラを見つけてクリックします。
2. カメラツールバーで  をクリックして、音声の再生を開始します。

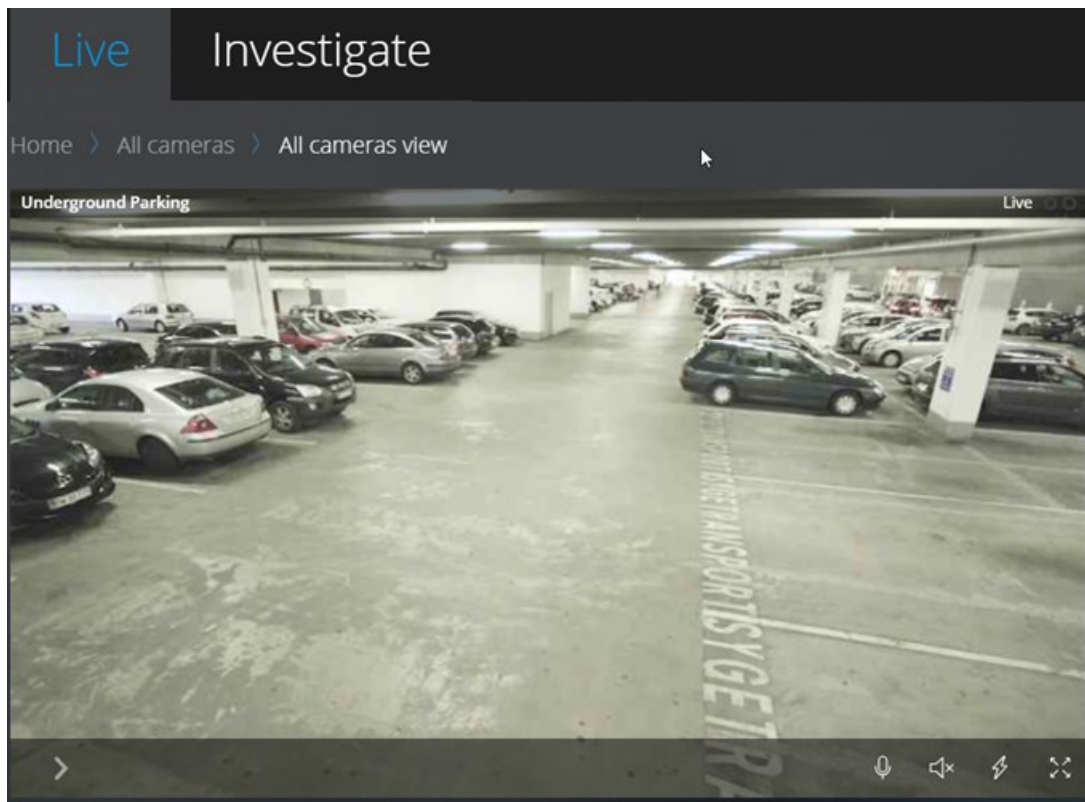
デフォルトでは、音声は消音になります。

カメラ付きマイクの場合、サムネイルストリップ上の全てのカメラは  ツールバー上に音声アイコンを持っています。



カメラに付随のマイクから入ってくるライブ音声は、もしこれらのカメラからのライブビデオストリームが無い場合でも再生可能です。

1つのカメラのライブビデオでプッシュ・トゥ・トークを使用

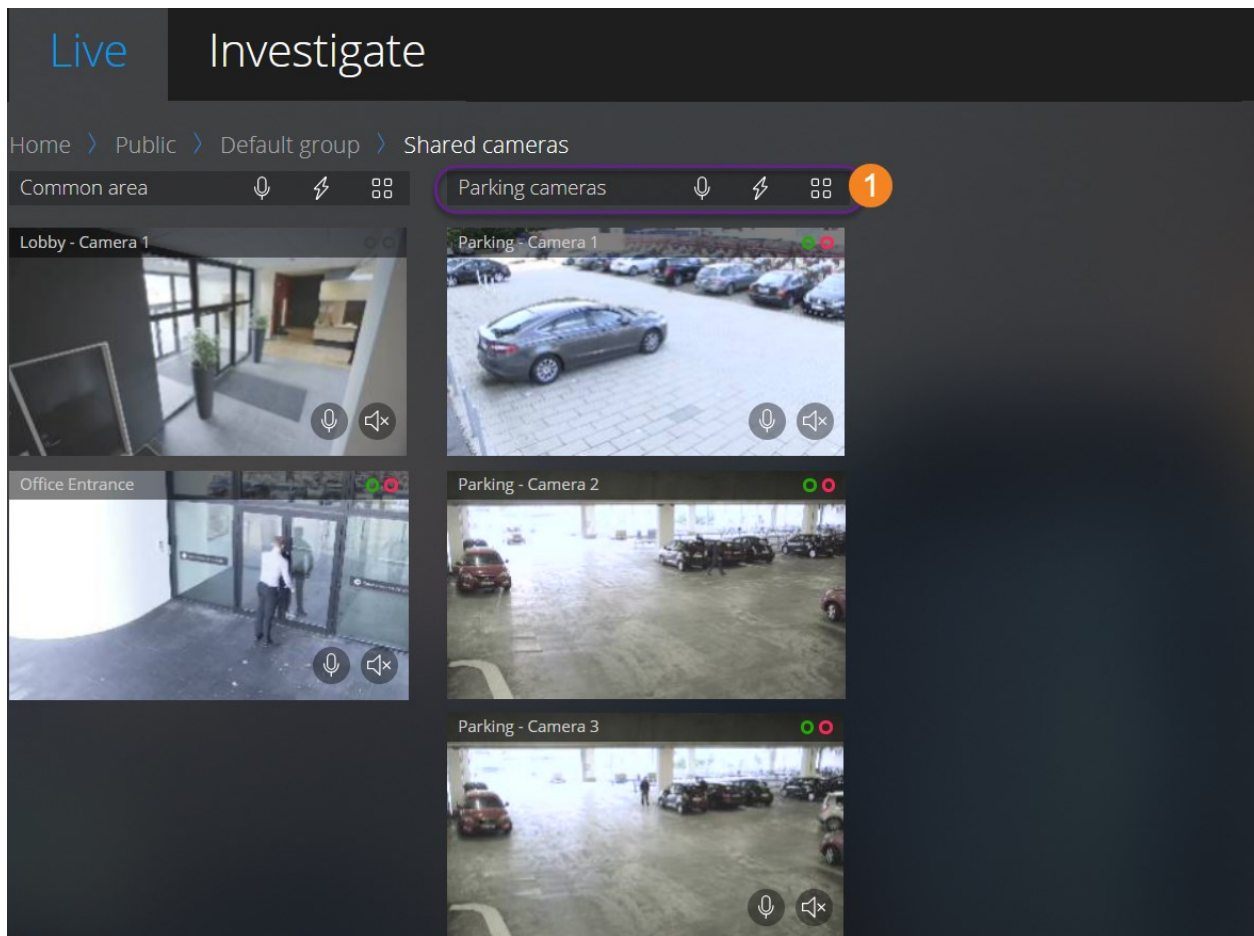


【ライブ】タブで:

1. スピーカー付属のカメラを探してクリックします。
2. カメラツールバーで  を長押しして、プッシュ・トゥ・トークの使用を開始します。
3. 音声の送信を終了したい時は  をリリースします。

カメラがスピーカー付属の場合、サムネイルストリップ上の全てのカメラは  ツールバー上にプッシュ・トゥ・トーク (PTT) アイコンがあります。

ライブビデオ内の複数のカメラに音声配信する



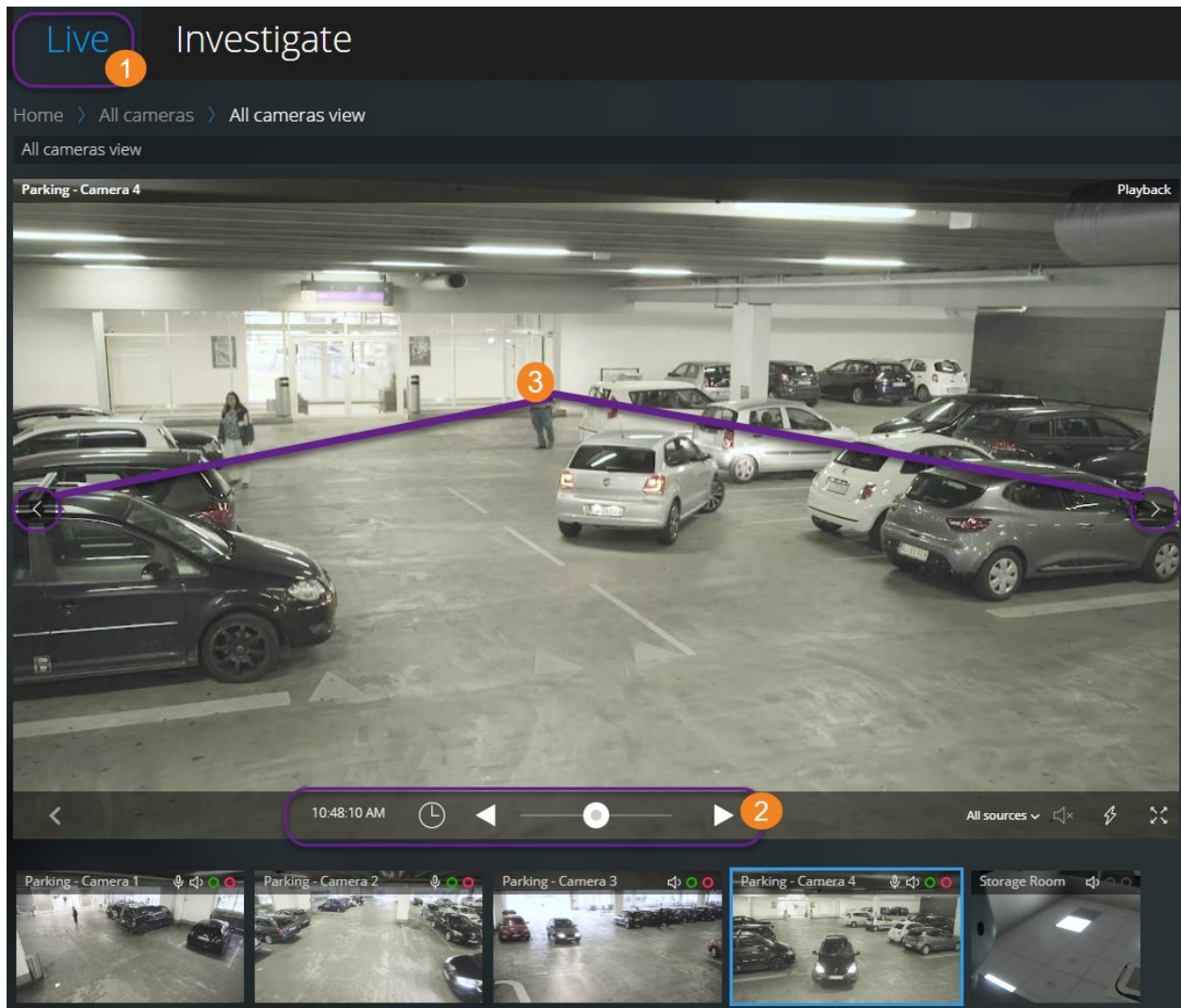
[ライブ]タブで:

1. ビューを選択します。
2. ビュー内のスピーカー付きカメラすべてに音声配信するには、ビューのツールバー①上で、 をクリックしたままホールドします。
3. 音声の配信を終了するときに をリリースします。

1台のカメラから録画を再生する



1台のカメラからの映像は、【ライブ】タブと【調査】タブどちらからでも再生できます。



ライブタブで①:

1. カメラを見つけ、クリックします。
2. カメラツールバーで、[>]をクリックし、ライブビデオを停止します。

再生コントロールバーが現れます。

再生コントロールバー②:

アイテム	可能なアクション
	左にドラッグして巻戻しするか、右にドラッグして早送りする。デフォルトでは、シャトルが真ん中に位置している時は、再生スピードは通常です。
	ビデオを再生または逆再生する。
	前または次の画像を見る ³ 。
	クリックしてタイムピッカーを開き、過去の日付および時刻を指定し、ビデオを再生する。
	録画がいつ行われたのかを確認する。
	ビデオ録画に録音された音声の再生を開始または停止します(ページ6の受信音声の再生条件を参照)。
	ビデオ録画が双方向音声の場合に、再生したい音声ソースを選択します(ページ6のプッシュ・トゥ・トーク使用のための要件とページ26のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照)。

[調査]タブで:

1台のカメラからの録画を再生したいが、選択したグループに複数台のカメラがある場合、必要のないカメラを削除することができます。これを実行するには、ページ33の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。にて解説されている手順に従ってください。

1台のカメラからの録画を再生するには:

1. カメラタイムラインバーで、再生するビデオの時間を指定してください。
2. ビデオを逆再生または再生するには、またはをクリックしてください。
3. オプション通常のスピードでビデオ録画を再生する際に、をクリックして受信音声の再生を開始し、をクリックして停止します(マイク付きカメラのみ)。
4. オプション音声の再生はをタップして開始し、をタップして停止します(マイクとスピーカー付きカメラのみ)。ビデオ録画が双方向音声の場合に、再生したい音声ソースを選択します(ページ26のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照)。



ビューを拡大するには、拡大したいカメラにカーソルを当てて、右上の  をクリックするか、またはカメラのサムネイル自体をクリックします。デフォルトのビューに戻るには、**Esc** キーを押すか、または右上の  をクリックします。

ビデオ録画における音声の再生(説明付き)

XProtect Web Clientでは以下が可能です:

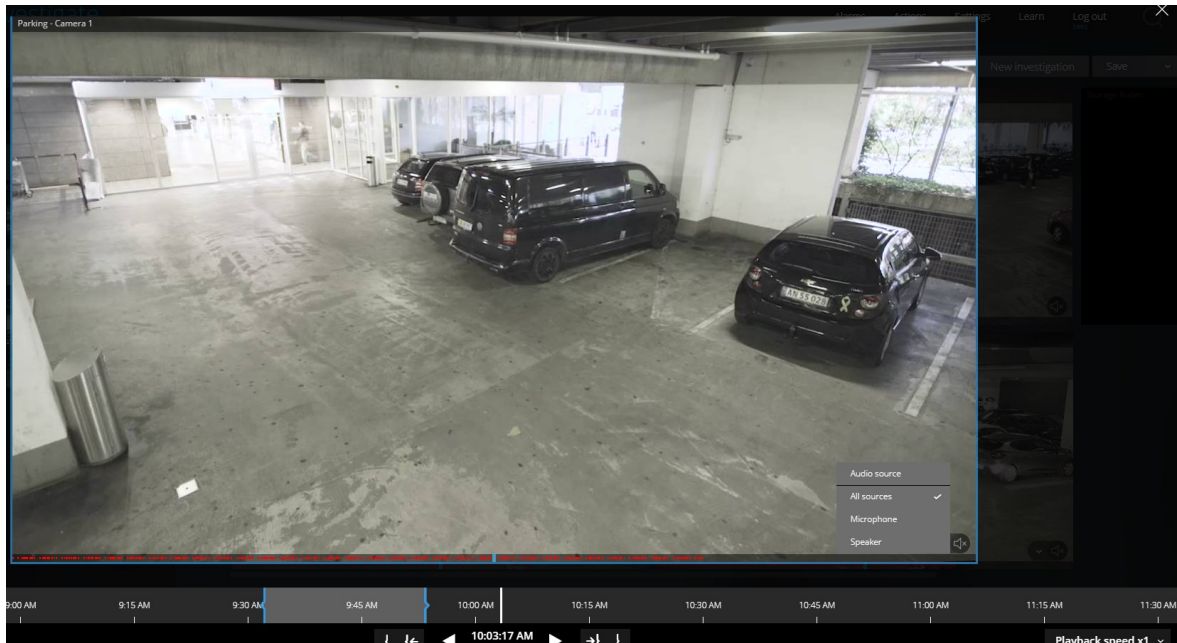
- ライブモードでのカメラ録画から音声の再生
- 調査モードでのカメラ録画から音声の再生

カメラツールバーで:

- 録音した受信音声を再生するには、ビデオ録画の再生中に  をクリックして音声の再生を開始します。



- 録音した受信音声と送信音声を再生するには、をクリックして音声の再生を開始します。[音声ソース]リストで、ビデオ録画の再生中に再生したい音声デバイスを選択します。オプションは以下のとおりです。
 - 【すべてのソース】(デフォルト) - 録音された受信音声と送信音声の両方を再生します
 - 【マイク】 - 受信音声のみを再生します
 - 【スピーカー】 - 送信音声のみを再生します

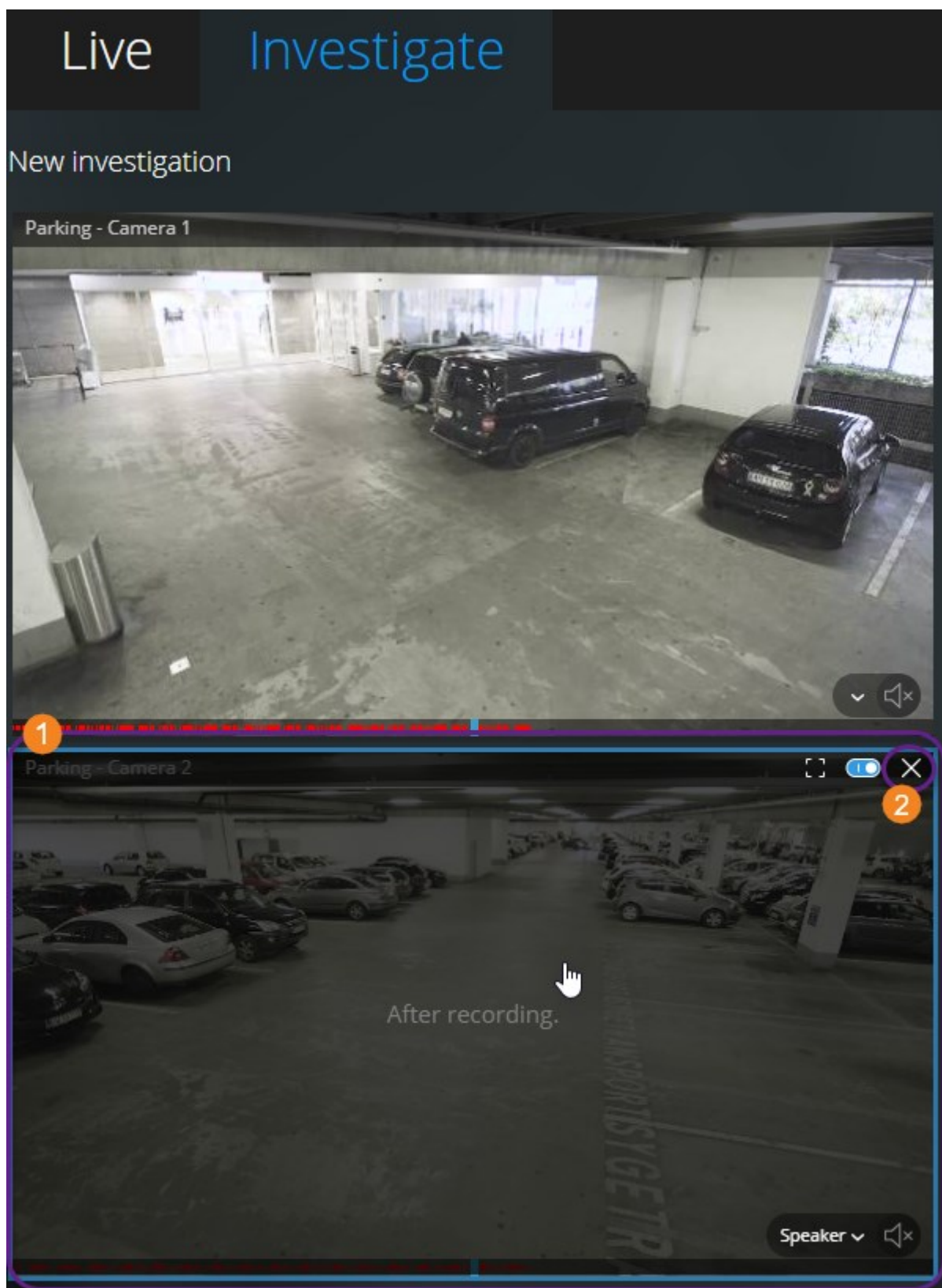


音声の再生は、ビデオ録画が存在し、かつ録画を通常のスピードで再生する場合にのみ可能です。

複数のカメラからの録画映像(説明付き)

調査 タブで、調査を作成することなく録画映像を再生できます。

カメラのビュー画面の下の、赤い連続した線①は、ビデオ録画がある時間を表します。



このモードでは以下が可能です:

- 再生したいカメラを選び、特定の時間帯の録画がないカメラを削除する²(ページ33の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。を参照)
- あなたがプレイバックしたい録画の時間帯を指定する(ページ30の再生するビデオの時間を指定するを参照)
- 録画のタイムスパンを指定する(ページ34の調査タイムラインの使用(説明付き)を参照)
- 選択されたカメラグループの全てのカメラからのビデオ録画を同時再生できます
- ビデオレコーディングあるカメラ選択されたカメラグループの特定のカメラからのビデオレコーディングとともにオーディオ再生をスタートまたはストップする(ページ26のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照)

再生するビデオの時間を指定する



「特定の時間に戻り、その時間帯の映像を見る必要があります。」

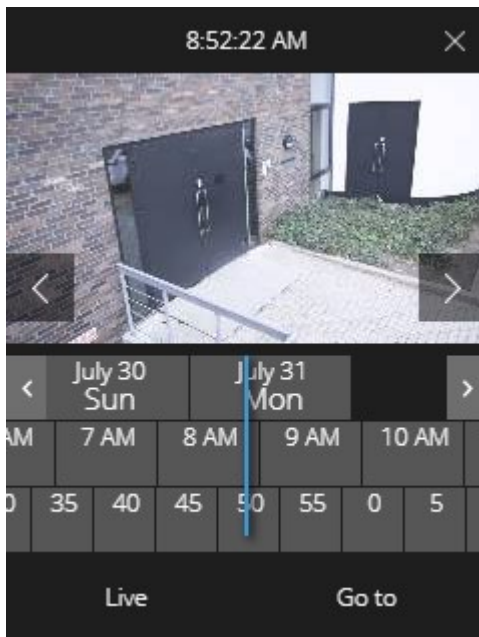
特定の時間からビデオを再生するには、タイムピッカーを使用してください。タイムピッカーは、[ライブ]タブと[調査]タブのどちらからでも見つけられます。

[ライブ]タブで:

1. カメラを見つけ、クリックします。
2. カメラツールバーで、[▶]をクリックし、ライブビデオを停止します。

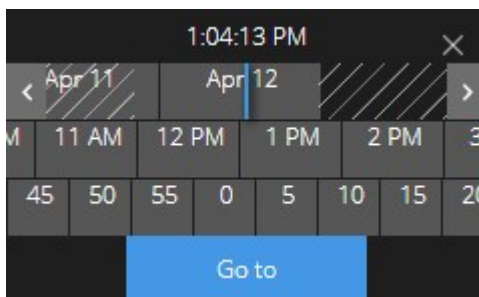
再生コントロールバーが現れます。

- 再生コントロールバーで、[🕒]をクリックし、タイムピッカーを開きます。



[調査]タブで:

- タイムラインバーで、[9:33:08 AM 2/08/2017]をクリックし、タイムピッカーを開きます。

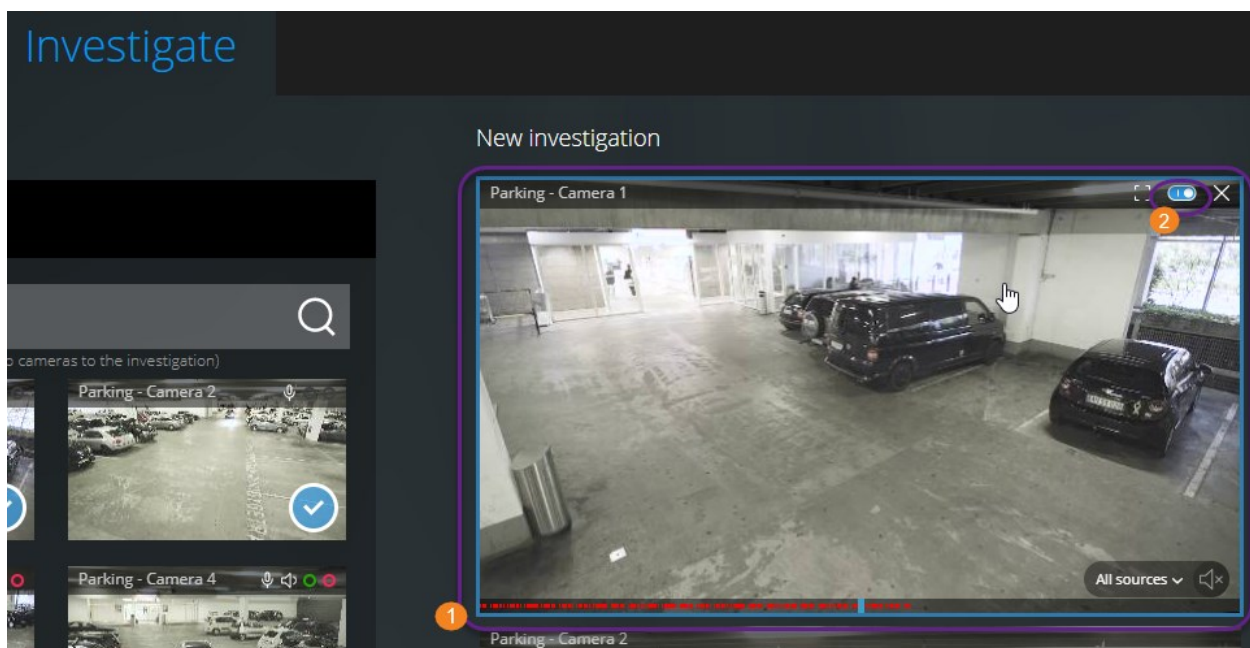


タイムピッカーをクリックしてドラッグすることで、画面上の位置を変更できます。

項目	可能なアクション
◀ ▶	前や次のイメージを見る。(ライブタブ上のタイムピッカーに限る)。
◀ ▶	1週間戻る、または進む。

項目	可能なアクション
	日付を指定するには、日付スクローラーを左か右にドラッグしてください。青い時間インジケータが、選択された日付を表します。
	時刻を指定するには、時間スクローラーを左か右にドラッグしてください。青色の時間インジケータが、選択された時間を表します。
	分を指定するには、分数スクローラーを左か右にドラッグしてください。青い時間インジケータが、選択された分数を表します。
移動する	指定した時間からビデオを再生するには、クリックしてください。
ライブ	ライブビデオに戻るにはクリック(調査タブ上のタイムピッカーに限る)。

再生をオンまたはオフにする



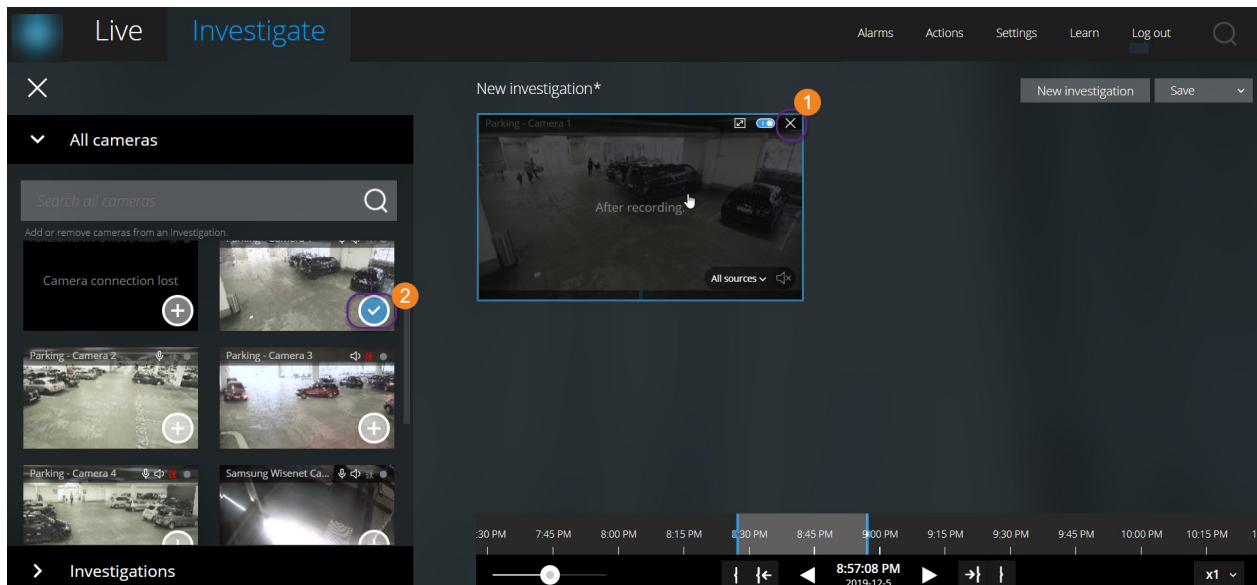
[調査]タブの調査内で以下を行ってください。

1. 再生を有効または無効にしたいカメラ^①にカーソルを当てます。
2. ビデオ画面の左上^②で、をクリックして再生をオンまたはオフにします。

再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。



「映像を再生する前に、指定した時間帯に録画映像がないカメラを削除したいです。どうすればできますか。」



[調査]タブでは、以下の場合にカメラグループから不要なカメラを削除できます:

- カメラ¹の上にカーソルを置き、右上で  をクリックする
- サイドパネルで  をクリックする
- サイドパネルで削除したいカメラをダブルクリックする

調査エリア内のカメラ(説明付き)

ライブモードで複数のカメラを見ている時に調査モードに切り替えると、同じ複数のカメラが調査エリアに現れます。



[調査]タブでは、視聴画面またはグループ内で閲覧することができるのは、個々のカメラのみです。複製されたカメラは調査エリアには表示されません。

例:

- 【ライブ】タブ上の【プライベート】フォルダーにいる場合:【調査】タブをクリックすると、【プライベート】フォルダー内にある全てのカメラが調査エリアに表示されます。
- 【ライブ】タブ上の【ホーム】ページにいる場合。【調査】タブをクリックすると、システム上の全てのカメラが、調査エリアに表示されます。

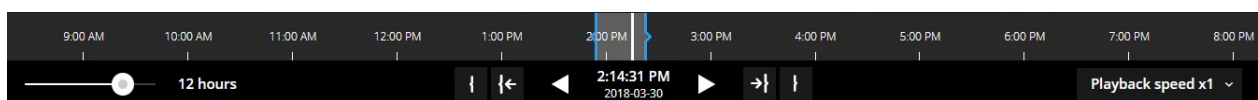
作成した調査で受信音声と送信音声を再生するには、以下を行う必要があります:

- 音声デバイス(マイクとスピーカー)が接続されたカメラを追加します(ページ6の受信音声の再生条件とページ6のプッシュトゥーク使用のための要件を参照)。
- ノーマルスピードでビデオ録画再生する(ページ26のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照。)

調査タイムラインの使用(説明付き)

調査内のタイムラインバーで、以下を指定できます。

- 調査対象の録画時間
- 調査対象の時間帯



アイテム	可能なアクション
	録画時間を変更する場合、タイムラインスクローラーを左か右にドラッグしてください。タイムラインスクローラー内にある白い時間インジケータが、選択された時間を表します。
 	ビデオを再生または逆再生する。
	• ビデオの再生が行われた時間を確認する • タイムラインバーのこのエリアをクリックすると、タイムピッカーが開きます。調査やダウンロードを行いたい録画の時間を選択するには、タイムピッカーが使用できます。(ページ30の再生するビデオの時間を指定するを参照。)  タイムピッカーをクリックしてドラッグすることで、画面上の位置を変更できます。

アイテム	可能なアクション
	青い時間帯 マーカーをクリックし、ドラッグして、調査またはダウンロードしたい録画の開始時間と終了時間を指定します。
	調査の開始または終了時間と選択した時間を揃えてください。
	選択した時間と調査の開始または終了時間を揃えてください。
	タイムラインバーの右下の【再生速度】リストから、映像の再生速度を選択します。デフォルト値はx1です。
	タイムラインバーの左下のスライダーをドラッグして、時間帯を変更します。この機能によって、ビデオを再生またはダウンロードする詳細な時間帯を設定できます。

1つかそれ以上のカメラで調査を作成する

	「オフィスにあるすべてのカメラからの、昨日の午前9時30分頃からの録画映像を調査したいので、1ヶ月分の録画を保管したいです。」
---	---

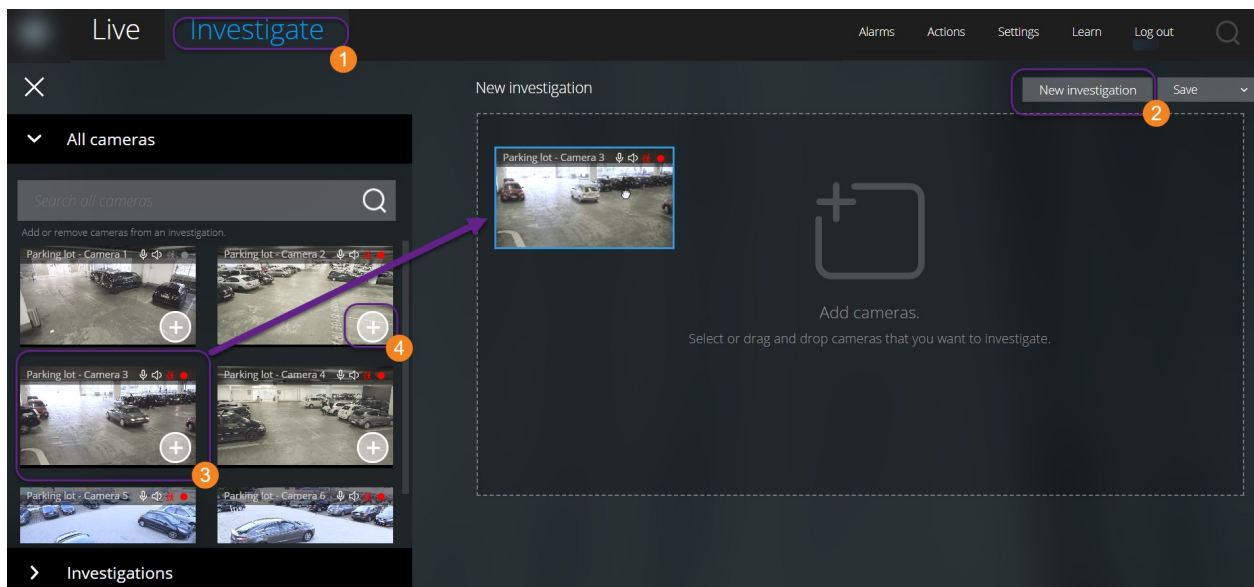
以下の場合、調査を作成してください：

- ビデオ録画がすでにシステムデータベースから削除されていたとしても、その映像を回数制限なく好きなだけ再生するため、保存期間より長い期間、録画映像を保管したい。



デフォルトで、システムデータベース内のビデオ録画のリテンションタイムは7日間です。(ページ12の録画映像の保存期間と保管(説明付き)を参照。)

- 将来的に、ビデオ録画をエクスポートし、ダウンロードし、当局と共有したい。



調査 タブで 1:

1. 新しい調査 2 をクリック。

サイドパネルが左側に開きます。

2. サイドパネルの[すべてのカメラ]で、調査したいカメラを参照して検索できます。
3. 以下を行うことで、1台または複数のカメラを追加できます:
 - 調査したいカメラ 3 をすべてクリックし、[新しい調査]エリアにドラッグ&ドロップします。

- 追加したい各カメラ 4 の右下にある  をクリックします。
- 追加したいカメラをダブルクリックします。

4. タイムピッカーを使って、調査したい録画映像の時間を指定してください。

選択された全てのカメラに選択した時間を適用するには、新しい調査に追加した(ページ30の再生するビデオの時間を指定するを参照。).

5. タイムラインバーを使って、再生したい録画映像のタイムラインを指定してください。

選択されたタイムスパンは、新しい調査に追加した全てのカメラに適用されます。(ページ34の調査タイムラインの使用(説明付き)を参照).

6. [保存]リストで [名前を付けて保存]を選択します。

[調査を保存する]フォームが開きます。

7. [調査名]欄には、新しい調査の名前を入力してください。

8. **OK** をクリックします。

新しい調査の設定が保存されます。



ビューを拡大するには、拡大したいカメラにカーソルを当てて、右上の  をクリックするか、またはカメラのサムネイル自体をクリックします。デフォルトのビューに戻るには、**Esc** キーを押すか、または右上の  をクリックします。

カメラを既存の調査に追加



「既存の調査にもっとカメラを追加したいです。どうすればできますか。」

[調査] タブで  をクリックしてサイドパネルを開きます。

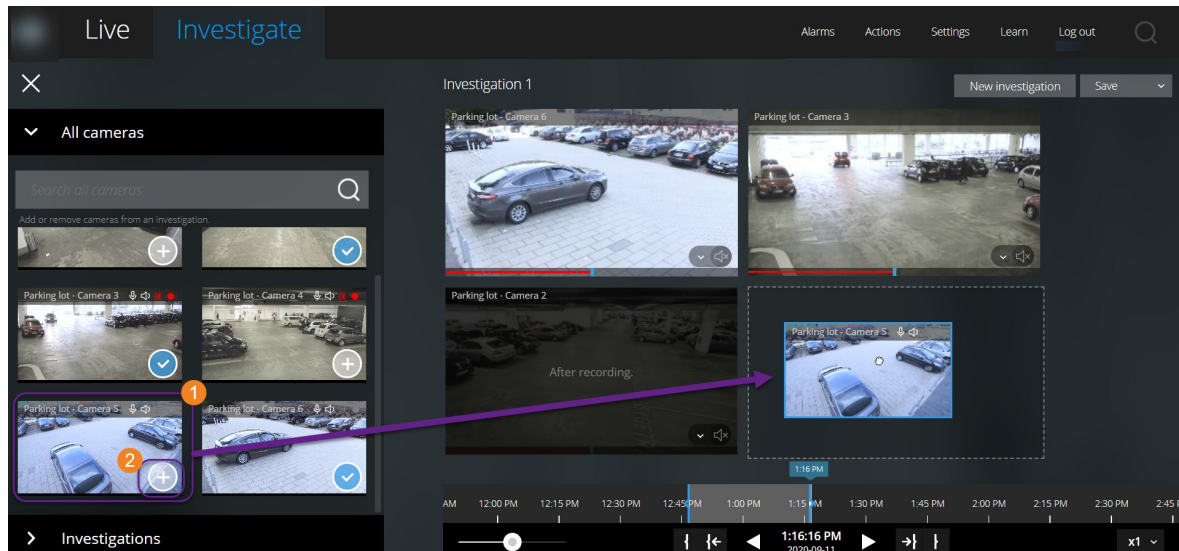
1. サイドパネルで [調査] をクリックします。
2. さらにカメラを追加したい調査まで進み、調査名をクリックします。
3. サイドパネルで [すべてのカメラ] をクリックします。 [すべてのカメラ] エリアに、利用可能なすべてのカメラがサムネイルとして表示されます。

4. 追加したいカメラまで移動します:

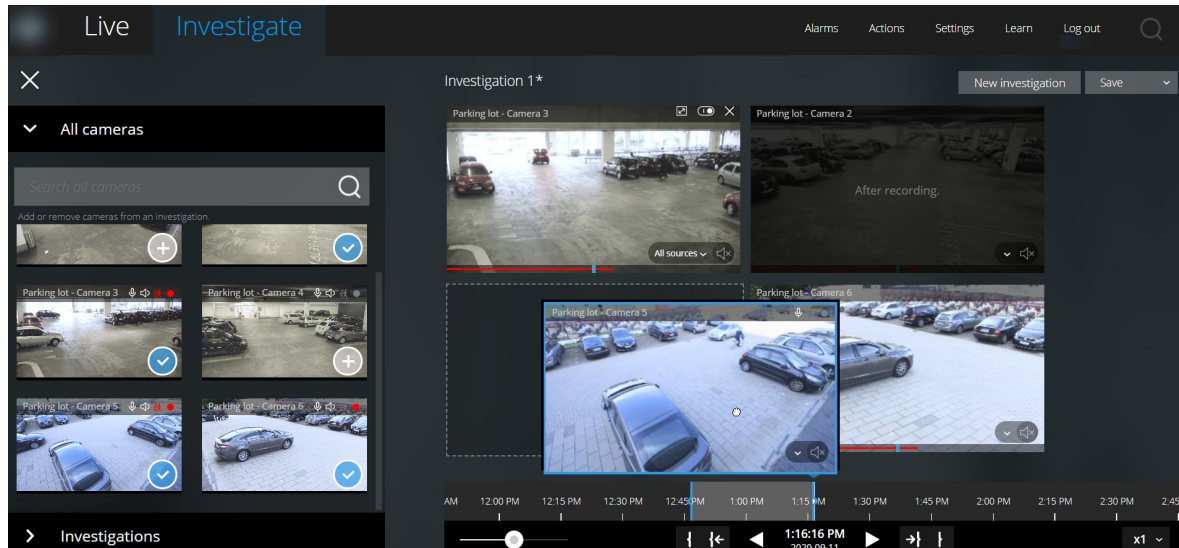
- カメラ^①をクリックして、調査エリアにドラッグ&ドロップ

- 各カメラの右下で⁺をクリック^②

- 追加したいカメラをダブルクリックします。



4. (オプション) 調査でカメラの順番を変更するには、動かしたいカメラをクリックしてドラッグ&ドロップします。



[全てのカメラを検索する]欄で、名前でカメラを検索できます。



右下のチェックボックスが選択されている場合は、カメラはすでに追加されています。

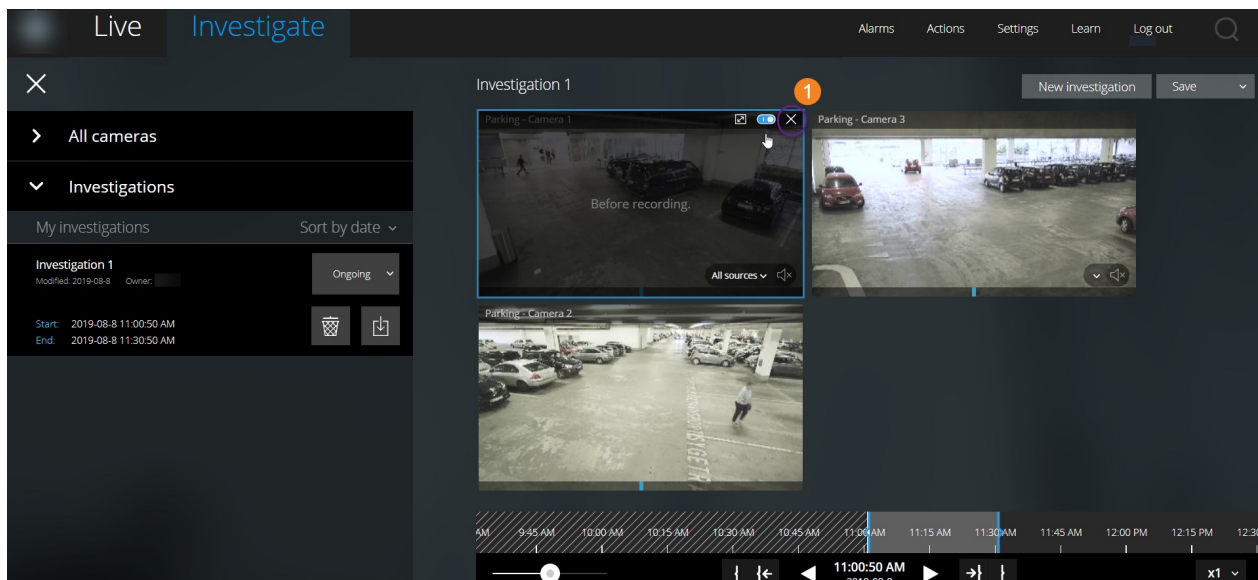


5. [保存] をクリックします。
6. ドロップダウンリストから、[保存]を選択します。

既存の調査からカメラを削除する



「複数の映像をダウンロードしたいが、カメラ1には関連する映像が録画されていません。調査から削除するにはどうしたらよいですか。」



既存の調査の[調査]タブで以下を行います:

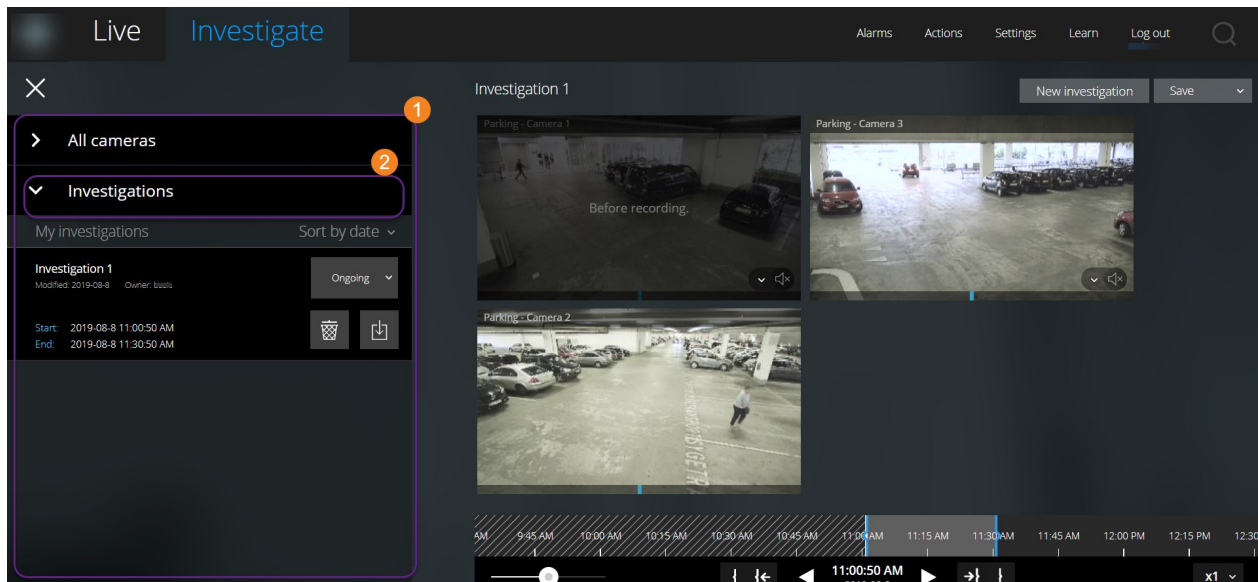
1. 調査から削除したいカメラにカーソルを当てます。
2. 調査からカメラを削除するには、右上①の  をクリックします。
3. [保存] をクリックします。
4. ドロップダウンリストから、[保存]を選択します。

カメラは、[すべてのカメラ]でカメラグループビューを開くことでも調査から削除できます(「ページ33の再生する映像から、必要のないカメラを削除できます。」を参照)。

調査を更新または削除する



「既存する1つの調査の名前と状態を更新し、もう1つを削除したいです。どうすればできますか。」

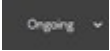


[調査]タブで[]をクリックしてサイドパネルを開きます。

サイドパネル^①で:

1. [調査]^②をクリックすると、すべての調査が表示されます。
2. 自分の調査リスト内で、更新または削除したい調査を見つけ、クリックします。

項目	可能なアクション
[調査名]	クリックして既存の調査の名前を変更する。
	調査を削除する。
	選択したビデオフォーマットで、調査の準備と、調査をダウンロードする (ページ41の映像のエクスポートとダウンロードを準備するを参照。)

項目	可能なアクション
	調査の状態を【進行中】または【完了】に手動で設定する。
	以下によって、調査を分類する: - 日付。リスト上部にあるで、直近の調査を閲覧する。 - 状態。リスト内の進行中の調査を最初に、そして完了した調査を最後に閲覧する。



調査を開き、調査に追加済みのカメラに接続された音声デバイスを切り替えると、以前接続されていた音声デバイスの音声再生が再生されます。アップデートを完了させてから新しい音声デバイスの音声の再生を開始するには、最初にXProtect Web Clientを再起動し、【保存】をクリックしてこの調査を更新します(マイクまたはスピーカー付きカメラのみ)。

映像のエクスポートとダウンロードを準備する



「自分の調査をダウンロードして、後日警備員に見せたいです。どうしたらよいでしょう。」



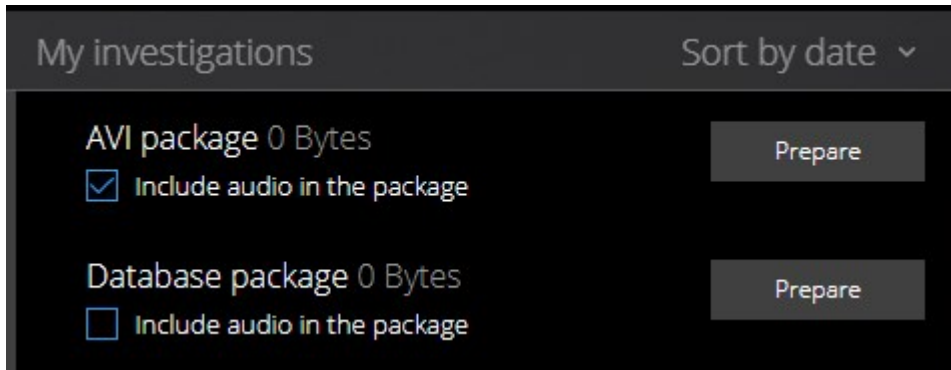
映像をエクスポートする準備およびダウンロードするには、特定のユーザ権限を保持している必要があります。エビデンスビデオを共有する際は、所属企業の規約に従ってください。

[調査]タブ:

-  をクリックします。
- 該当する調査を開きます。
- ダウンロードしたい調査をクリックします。
-  をクリックします。

5. 音声が含まれたビデオエクスポートパッケージを準備するには、パッケージに音声を含むチェックボックスを選択してください。

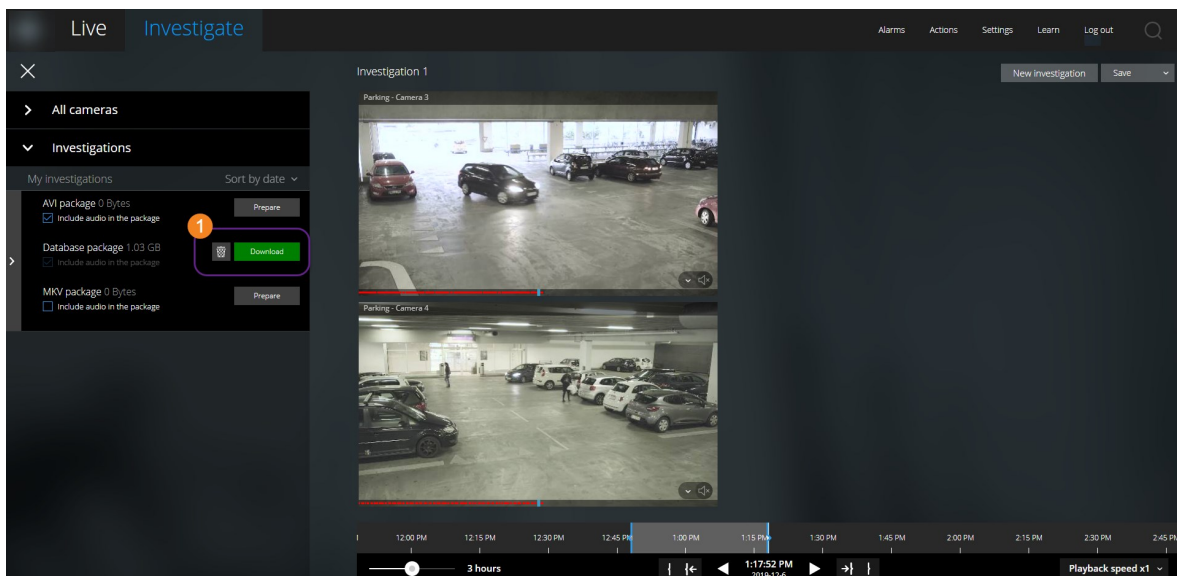
デフォルトでは、チェックボックスが選択されています。



6. 希望するフォーマットで映像をダウンロードするには、[準備する]をクリックしてください。



後で映像をエクスポートする準備をしたり、ダウンロードできます。準備されたエクスポートでは、調査に追加されたカメラの数と、録画映像の数が異なる場合があります。その理由として、そのカメラの指定した時間帯に録画映像が存在しない場合があるからです。



7. [ダウンロード] **1** をクリックして、用意したビデオエクスポートをダウンロードします。

ブラウザのダウンロードフォルダー内にダウンロードされたファイルがあります。

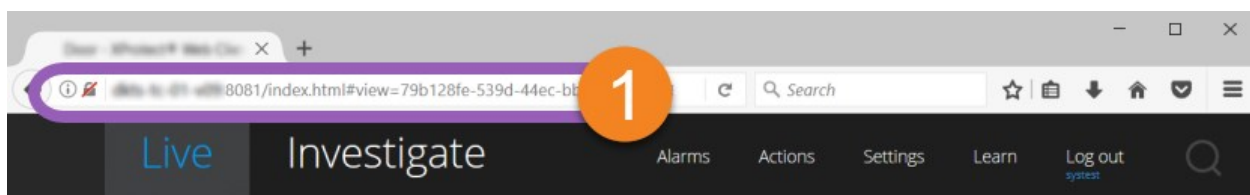
利用可能な映像フォーマットは以下の通りです：

フォーマット	可能なアクション
AVI パッケージ	大半のメディアプレイヤーで採用されている標準的ファイルフォーマットです。迷っている場合は、こちらを選択してください。
データベースパッケージ	データとXProtect Smart Client - Playerをダウンロードします。XProtect Smart Client - Playerでのみビデオを再生できます。
MKV パッケージ	録画カメラが使用するコーデックを選択します。必要なコーデックがインストールされている場合のみ映像を再生できます。

XProtect Web Clientページの共有(説明付き)



「私の同僚は他のオフィスで働きます。私がXProtect Web Clientで見ているものと同じものを別のの人に見せるには、どうすれば一番早くできますか」

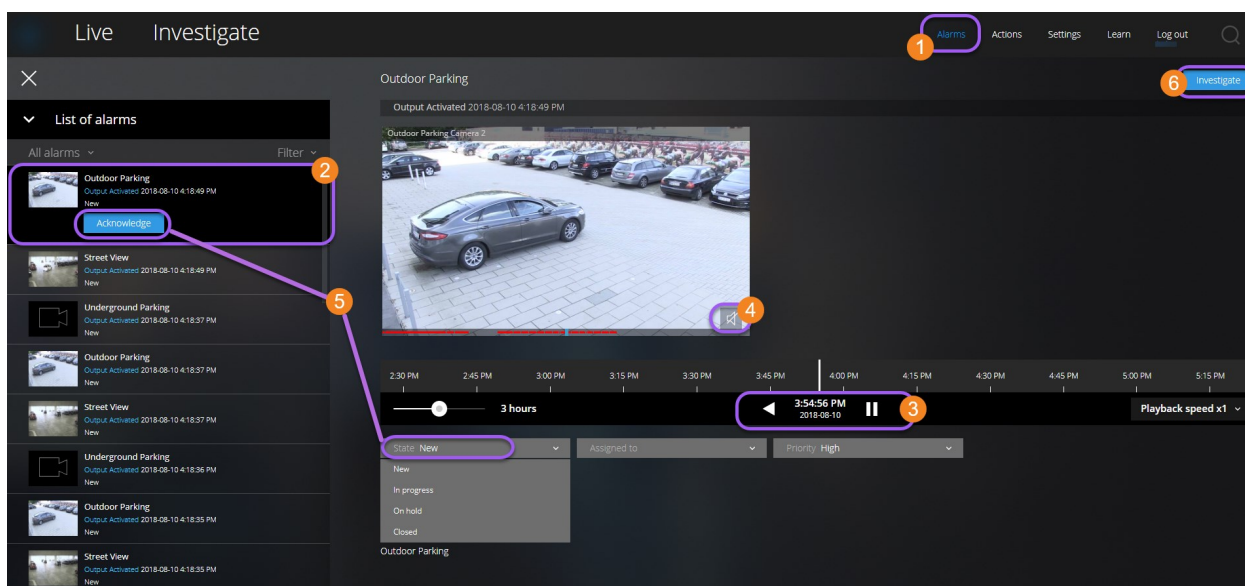


XProtect Web Clientのページ一つひとつに、固有のインターネットアドレスがあります¹。そのアドレスは、他のユーザーとの共有が可能です。ユーザーがWebブラウザ上でそのアドレスに進み、ログインすると、ユーザーは、あなたが共有したページを見ることができます。

アラームを表示



「カメラ3が午後 4時前後に動作を検知し、アラームが送られてました。強盗のようです。実際に何が起こったのかを見て、ビデオを警備員に見せたいと思います。」



アラームタブ^①で:

1. 視聴したいビデオのアラーム^②を探してクリックします。[フィルター]リストでは、アラームを状態別または優先度別にフィルタリングできます。
2. ビデオを逆再生または再生し、閲覧しているイメージが撮影された時間を確認します^③。
3. 通常のスピードでビデオを順方向に再生する際に、その音声を開始または停止します^④ (ページ26のビデオ録画における音声の再生(説明付き)を参照)。
4. 認識ボタンをクリック、あるいは別のアラームステータスオプションをリストから選択して、アラームのステータスを変更します^⑤。
5. ビデオを後で見ると、または他者と共有するために保存するには、[調査]をクリックします^⑥。
6. ページ41の映像のエクスポートとダウンロードを準備するの順序に従ってください。

他にアラームをトリガーし得るものとは?

- カメラが動作を停止した。
- 窓ガラスが砕けた、または壊れた。
- ロッカーに侵入された。
- カメラでブラックリストに入っているナンバープレートが確認された。

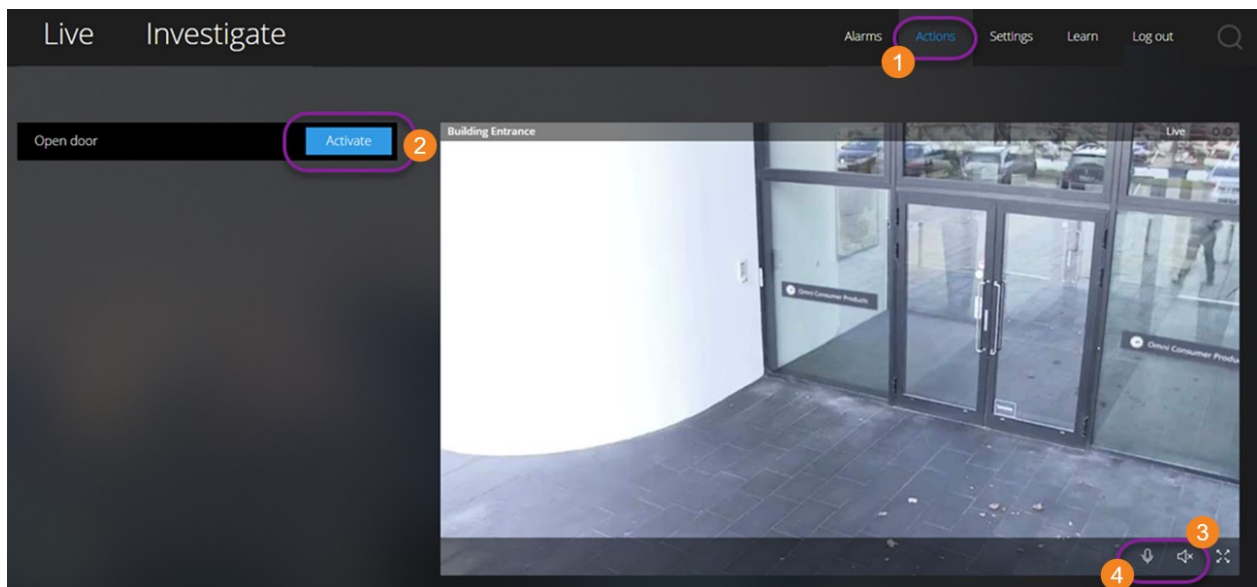


アラームを閲覧するには、システム管理者にアラームを設定し、また十分なユーザー権限をあなたに与えるよう依頼してください。

アクションの有効化



「来客者のために、フロントドアがボタンのプッシュで開くようにしたいです。」



アクションを有効化することにより、ビデオ監視システムでイベントがトリガーされます。たとえば、フロントドアを開いた(アクション)とき、カメラ3がビデオの録画を開始(イベント)します。

[アクション] **1** タブを開きます:

1. 有効化したいアクションを見つけます。
2. たとえば [アクティベート] **2** をクリックすると、玄関ドアが開きます。
3. オプションライブ インカム音声 **3** をスタートまたはストップします(スピーカー付きカメラのみ)。
4. オプション  プッシュ・トゥ・トークをスタートするには、クリック & ホールド 音声の送信を終了するには、 アイコンをリリースします **4** (スピーカー付きカメラのみ)。

ライブビデオを再生する際には、【ライブ】タブ内のアクションも有効にできます(ページ18のライブビデオを見る(説明付き)を参照)。

アクションの例にはどのようなものがありますか?

- ドアの開け閉め。
- 電灯のオン/オフ。
- サイレンの有効化/無効化。



アクションを表示し、有効化するには、システム管理者にアクションの設定をし、また十分な権限をあなたに与えるように依頼してください。

PTZコントロール

マウスを使用して、PTZ(パン/チルト/ズーム)カメラを動かす方法を選択します。

スワイプ:

1. ビデオの上にカーソルを持っていきます。
2. マウスの左ボタンをクリック・アンド・ホールドします。
3. マウスをドラッグし、左ボタンから指を離します。

タップしてホールド:

1. ビデオの上にカーソルを持っていきます。
2. マウスの左ボタンをクリック・アンド・ホールドします。
または マウスをクリック・アンド・ドラッグします。

デジタルズームの使用

1. ライブタブにて、カメラを見つけ、クリックします。
2. ビデオの上にカーソルを置きます。
3. ズームイン/アウトするには、マウスでダブルクリック、またはスクロールします。
4. ズームインした場合、お使いの  カーソルを興味のある領域までクリック・アンド・ドラッグします。

光学ズームの使用(カメラが光学ズームをサポートしている場合)

1. ライブタブにて、PTZカメラを見つけ、クリックします。
2. ビデオの上にカーソルを置きます。
3. ズームイン/ アウトするには、マウスでスクロールします。

または  をクリックし、それから   をクリックしてズームします。



もし録画の最中に光学ズームを使用する場合、ご使用のズームレベルが録画にも適応されます。

PTZコントロールセクションでマウスを使用したpan-tilt-zoom(PTZ)カメラの動かし方を見る(ページ46のPTZコントロールを参照。)

アップグレード

XProtect Web Clientのアップデート

最新バージョンのXProtect Web Clientで作業するには、システム管理者にXProtect Mobileサーバーサービスを更新するように依頼してください。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systemsはオープン プラットフォームの監視 カメラ管理 ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。Milestone Systemsは、世界中の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestoneのソリューションにより、ネットワーク ビデオ技術の開発 と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープン プラットフォーム コミュニティを形成しています。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

